

1 学力の向上 個別最適な学びと協働的な学びによる学習の深化

★学習習慣の確立 学びに向かう姿勢を整える

- 授業準備 ・1分前着席 ・立腰の姿勢 ・整理整頓 ・家庭学習 など、学びに必要な習慣を確立し、学びに向かう姿勢を整える。

★個別最適な学びと協働的な学びの推進 学びの感度を高める

- 「考えの視覚化 → 説明 → 議論」による納得解・最善解を生み出す協働的な学びを展開する。
- 「考えをもつ → 協働的な学び → 考えの広がり・深まり・新たな考えの創造」で、深まりのある学びを展開する。
- 自分で考え、判断し、計画して、実行する経験を積み重ね、自律した学びを創造するとともに、学びの感度を高める。
- ※ 「学びの感度」とは、「わかった、できた、進んだ、深まった」などの学びに対する実感をいう。



★授業改善の視点を意識した授業の確立 授業を楽しむ

- 「しんとみスタイル」(自調自考協働習熟)の授業実践 ・授業マネジメント ・協働的な学びの質と量 ・ICTの効果的活用 による授業改善を図る。
- 「ひなたの学び」の推進 ・問いをもち主体的に学ぶ ・対話的に学ぶ ・考えを深める による授業改善を図る。
- 授業で勝負する姿勢を大切にし、変容を感じながら授業を楽しむ。



★教員育成指標に応じた資質能力の向上 職能成長を図る

- 個のステージに応じた校務分掌への取組や町や郡の教科等部会への参加等、様々な機会を通して情報を収集し、高い意識をもって日々の業務を推進し、職能成長を図る。
- タイムパフォーマンスを意識して業務を推進する力を高める。



3 健康安全教育 安心安全な教育環境の構築

★常在危機の意識と危機管理体制の確立 健康と命を守る

- 想定される危機に気付く力を高め、互いに情報を共有することで、予見可能な危機を回避することができる機能的な組織を確立する。
- デジタルシティズンシップ教育によるネットワーク上のルール、マナーの向上と生活習慣の確立による健康や命を大切にする教育を推進する。



2 生徒指導・特別支援教育 挑戦と自律を促す環境の構築

★挑戦する姿勢や自律を促す環境の構築 挑戦を楽しむ文化をつくる

- 「何がしたいのか → どうすればよいのか → 何ができるのか」を考え、富田小を自分たちで創っていくという挑戦を促す。
- 4つの実感(自発性・有能感・関係性・帰属意識)を味わわせる機会と場を意図的に設定し、強さやしなやかさをもつ児童を育成する。



★いじめ・不登校への対応と多様性の尊重 寄り添い、繋がる

- 気になる情報の共有による児童理解やSOSの出し方の指導によるいじめ・トラブルの見逃しを防ぐ。
- 不登校及び不登校傾向の児童や家庭に対する組織的・継続的な対応による居場所の確保や学びの保障を行う。
- 多様性を尊重し、違いを認め合う価値観を育む。

★特別支援教育の充実 共に生きる

- 個に応じた教育課程を編成し、必要な合理的配慮を実施することで、自立と社会参加に挑戦できる環境を構築する。
- 相談機能を強化することで、支援を必要とする児童への効果的支援と早期対応を実施する。
- SWPBSによる組織的アプローチの実践による教育環境の充実を図る。



4 家庭・地域社会との連携 信頼される学校づくりの推進

★家庭や地域との連携による読書活動の推進 心を耕す

- 町読書推進委員会の事業(バストリーダー、ポップカードなど)や図書委員会のイベントを広く児童や家庭に周知し、読書活動を推進する。



★地域素材・地域人材を活用した「ふるさと学習」の充実 新富のよさを実感する

- ふるさとを知る、ふるさとで学ぶ学習による地域を語ることができる児童の育成を図る。
- 地域で起きていることに関心をもち、主体的に地域や社会に参画する意識の高揚を図る。



★学校運営協議会との連携 信頼を得、支援者を増やす

- 学校運営協議会と連携した学校の課題改善や教育の充実の在り方を模索する。